

令和4年度 学校経営方針

1 学校教育目標

大志を抱き 共に学び 高め合い たくましく未来を生きる生徒の育成
～ 変化の激しい「未来」につながる教育の実践 ～

2 学校経営の理念

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちには、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康と体力」の3つの要素からなる「生きる力」を育むことが必要であり、それは学校教育の使命である。

本村は、生徒が安心して諸活動に取り組み、学び合い、高め合うことのできる教育環境にある。そこで失敗を許容し、互いに認め合える共感的な集団を構築し、一人一人を活躍させ、可能性を伸ばしていける学校を創造したい。

そのために本村教育の軸である「小中連携教育」の理念をもと、小中学校の連続性と系統性を重視し、生徒一人一人が「生きる力」の礎を築くことを目指し、学校経営を推進していきたい。

3 目指す生徒像

- (1) 高い志をもち、その実現のために粘り強く努力する生徒
- (2) 知的好奇心と向上心をもち、仲間と共に学び合い、高め合う生徒
- (3) 優しさと思いやりをもち、共に認め合える心豊かな生徒
- (4) 命を大切に、たくましい心と体をもつ生徒
- (5) ふるさと「東成瀬」を愛し、ふるさとと共に生きようとする生徒

4 目指す学校像

- (1) 生徒にとって・・・「わかる、できる」喜びを感じ、仲間と仲良く過ごせる、魅力ある学校
- (2) 教職員にとって・・・生徒の成長を通して、教職員の仕事にやりがいを感じる学校
- (3) 保護者や地域にとって・・・思いや願いを共有し、協力して生徒を成長させる学校

5 今年度の重点施策

(1) 東成瀬の特性を生かす

- ① 少人数・小規模のメリットを生かした教育の推進
 - ・ 一人一人に目を配る実践
 - ・ 一人一人が活躍できる実践
- ② 「小中連携教育」の充実
 - ・ 各活動に明確な意味付け、価値付けと実践、検証
- ③ 多様な体験活動の充実
 - ・ 共に学び合う
 - ・ 「異質性」や「多様な価値観」に触れさせる

(2) 仲間と共に主体的に学び合う生徒を育む

- ①「探究型授業」を軸とした「対話」のある授業の実践
 - ・知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成
 - ・生徒主体の授業構想の推進（学び合いの重視）
- ②教師のコーディネート力を高め、言語活動を活性化させる授業の実践
 - ・探究心・思考力を引き出す「仕掛け」の重視
- ③読解力・思考力・表現力を向上させる学習活動の推進
 - ・自己思考と自己表現，意見交換させる場の設定
- ④一人一人の学習状況を把握し，個に応じた指導の充実
 - ・T Tの教育的効果向上に向けた実践
 - ・「揃える指導」「可能性を伸ばす指導」の工夫・教材開発

(3) 心豊かな生徒を育む

- ①全教育活動を通して、「道徳性」を育てる教育を充実させる。
- ②ちがいを受け止め，互いに認め合える共感的な人間関係を構築し，思いやりと助け合いの心を育てる。
- ③異質性や多様な生き方・考え方に触れさせる学習活動を充実させ，社会性を養う。
- ④自他の命を大切にす思いやりの心を育て，いじめのない学校を創造する。

(4) 健やかな心と体を育む

- ①基本的な生活習慣を定着させる。
- ②生涯にわたった健康づくりにつながる食育を推進する。
- ③「人命尊重」を基調とする防災，安全教育を推進する。
- ④運動の楽しさを味わわせ，生涯スポーツへの関心を高める体育的行事や部活動等を推進する。
- ⑤心身共に健康なライフスタイルづくりへの意識を高める。

(5) 志をもち，たくましく未来を生きる生徒を育む

- ①志や希望，目標について考えさせる場を設け，将来への夢をもち，その実現のために努力しようとする態度を養う。
- ②ふるさとでの学びを充実させ，ふるさと「東成瀬」を愛し，ふるさとと共に生きようとする生徒を育てる（多様な集団での学びの構築）。
- ③未来の自分を見つめる教育を推進する（職場体験等の充実）。
- ④チャレンジ精神の醸成

(6) 積極的な生徒指導の充実

- ①生徒の主体的な活動を促す場の設定
- ②日常的な生徒理解の充実
- ③カウンセリングの充実（スクールカウンセラーの活用）

(7) 特別支援教育の充実

- ①生徒の特性や発達状況等に応じた特別支援学級経営の充実
- ②全教職員による温かい声かけと居場所づくりなど支援の充実

(8) GIGA スクール構想の実現

- ①教職員の研修（タブレットの操作，オンライン授業など）
- ②機器を用いた授業，会議等の実践